

蒜山&大山山行報告

【山行日】2018年 5月 19~21日(土~月)

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 34,600円

【メンバー】CL:鈴木 石川、岩淵、大西、島田、
藤原、渡辺

19日 雨後晴れ、岩舟支所を出発し、松江城を観光し宿のペンション「さかた」へ

岩舟支所P4:00=松江城 14:00/15:10=ペンション『さかた』16:40

大山に登りたいとリクエストがあり、200名山の蒜山と併せて登る計画を立てた。

初日は移動日で松江城の観光を計画し、岩舟支所から900Kmのロングドライブが始まる。

東北道から圏央道、新東名・新名神から中国道をひた走り、米子自動車道を通り松江城に着いた。



大手前の駐車場に車を止め、大手木戸門跡から外曲輪に入る。

松江城は1600年の関ヶ原合戦の後、豊臣秀吉、徳川家康と二人の天下人に仕えた堀尾吉晴が松江の将来性に着目し築城した城である。

吉晴は城普請の名人であり、孫の忠晴を助け松江城と城下町を建設し、現在の松江市の礎を築いた。

三ノ門跡から二ノ門跡、一ノ門をくぐると甲冑姿の武士が3名いて、一緒に記念写真を撮る。そこから本丸へと進み、靴を脱いで本丸へ登ると甲冑姿のボランティアが本丸の内部を案内してくれる。地下から一階、二階と説明を受けながら登って行



き、五階の天守閣まで上がって行く。天守閣からの眺望は素晴らしく、東西に宍道湖と中海、北には日本海が見渡せ南には松江の街並みを見下ろせる。眺望を楽しんだら本丸を出て、場内の遊歩道を歩いて散策する。駐車場に戻ると、道路の向こう側に「シジミ汁」ののぼり旗が目に入り、島根県物産観光館へ向かう。2階のレストランへ行き、皆でシジミの味噌汁を注文し美味しくいただいた。お腹が落ち着いたところで、今宵の宿「さかた」へ向かう。往路を戻り米子自動車道の蒜山ICで降り、途中のセブンで買い物をして宿に着く。部屋に案内され、荷物を整理したら風呂に入る。6時から夕食が始まり、ここの食事は飛び切り美味しく皆さん大喜び。アジのお刺身は新鮮で脂がのり、皆さん「美味しい」を連発していた。鳥取牛のスキヤキも絶品で、ビールやお酒が進み飲まない人もご飯が進んでいた。ただご主人のお話が凄く、我々の会話が出来なくて少し不満があったようだ。お腹がいっぱいになったら部屋に戻り、明日の蒜山登山に備えて早めに就寝した。



20日 小雨のち晴れ、犬狹峠登山口から登り、下蒜山・中蒜山・上蒜山の三山を縦走し上蒜山スキー場駐車場へ下山する。

ペンション『さかた』7:00＝犬狹峠登山口 7:15/7:30～下蒜山 9:10/9:20～中蒜山 11:15/11:25～

上蒜山 12:20/12:50～上蒜山スキー場P14:30＝道の駅「風の家」15:00/15:30＝ペンション『さかた』15:45

朝5時に起床し窓の外を見ると、雲が厚く風が強かったが雨は落ちていなかった。天気予報を見ると、晴れの予報だったが風は強い予報になっていた。6時に朝食をお願いし、食堂で朝食をいただくが朝食



もとても美味しかった。奥様の料理は心がこもっていて、何を食べても美味しく皆満足したようだ。7時に宿を出て、ご主人の車の先導で登山口の犬狹峠に向かう。登山口には東屋があり、道路を挟んだところには葬儀場があり綺麗なトイレを開放している。皆さんの登山支度が整い、靴を車に載せたら我輩はご主人の車の後を付いて上蒜山スキー場駐車場に向かう。皆さんはストレッチを行い、予定通り登山口を出発する。我輩は上蒜山スキー場 P に車を置き、ご主人の車で犬狹峠登山口に送っていただく。

靴の紐を結び、準備が整ったら皆の後を追いか

ける。東屋の脇の登山口から湿原に掛かる木道を進み、谷筋に付けられた登山道を登り始める。いきなり急登となり、10分程頑張ると頂上まで1時間40分の標識がある県境尾根に出る。ここからは蒜山三座に延びる、県鏡の主稜線をたどって行く。傾斜が増々きつくなり、要所にはロープやクサリが取り付けられている。前回は4合目で先行隊に追いついたが、今回は五合目を過ぎても先行隊は見えず体力の衰えを感じさせられた。五合目からは笹に覆われた気持ちが良い尾根歩きとなり、六合目雲居平はたおやかな笹尾根が素晴らしい。ここまで来ても先行隊が見えず、少し焦りが出て来たがマイペースで登ることにする、7合目を過ぎると先行する6名が見えるようになり、少し気が楽になる。9合目を過ぎると一頑張り下蒜山山頂に出て、先行した6名と合流した。皆さんと一緒に休憩し、果物や



菓子を食べて疲れを癒し、記念写真を撮ったら中蒜山に向かう。

ここから中蒜山へのコースは、なだらかな笹の稜線を歩き今日のコースで一番爽快に歩ける。アップダウンを繰り返しながら進み、塩釜へ下る道を左に分け山頂避難小屋の脇を通り中蒜山山頂に着く。

山頂は広く大勢の登山者が休んでいた。眺望も素晴らしく、足下に広がりを見せる蒜山盆地の俯瞰は圧巻である。記念写真を撮り、休憩を取って眺望を楽しみながら果物や菓子をいただく。中蒜山をあとにして避難小屋の前を通り、本日の最高峰上蒜山へと向かう。

自然林の登山道を少し下ると笹原が広がり、ユートピアと呼ばれる景色が良い場所に着く。

振り返ると今降りてきた笹原の尾根が見渡せ、たおやかな稜線が続きまさにユートピアにふさわしい。さらに緩やかな稜線を鞍部まで下り、上蒜山への最後の急な登りに取付く。上蒜山の山頂は雲の中だ



が、急登をいっきに切り切りほどなく行くとブナの純林となり、上蒜山からの道と出会う。ここが標高1202mの蒜山で最も高い上蒜山山頂である。地図上で上蒜山山頂となっている三角点が置かれたピークは、さらに5分程先にあるが歩かれてなく登山道が不明瞭だった。山頂標識の周りに陣取り、ランチタイムとし味噌ラーメンを作り、おにぎりやパンと一緒に美味しくいただく。狭い山頂に次々と登山者が登って来て、山頂標識で写真を撮るので落ち着かない。我々も昼食を食べ、記念写真を撮ったら早々に下山開始する。樹林帯の道を下りブナ林を抜けるといっきに展望が開け、やがて上蒜山

で一番展望が良い八合目「槍ヶ峰」に着く。蒜山の西に連なる皆ヶ山、そしてその向こうに大山の雄姿が見え隠れする。眼下に広がる広大な蒜山盆地を見ながら五合目、四合目、三合目と下り杉林を過ぎると牧場の中を歩くようになる。牧柵を越えて車道に出て、標識に従って右に林道に戻るよう進むと、今朝車を置いた駐車場に着く。靴を履き替えたら車に乗り、セブンで明日の行動食や飲料を買い、道の駅「風の家」でお土産を買ったら宿に戻る。蒜山高原はジャージー牛の乳製品が有名で、皆さんジャージー牛のヨーグルトやアイスクリームが美味しかったようだ。宿に戻ったら早速お風呂に浸かり、疲れを癒したら楽しみの夕食が始まる。今日はメバルの塩焼きと鳥取牛の陶板焼きがメインで、エビのお造りや山菜のおひたし等とても美味しく、お酒が進んだ。皆さんも美味しい、美味しいと言いながら食べていた。今日もお腹いっぱい食べ、皆大満足の様子だった。夕食が済んだら、明日の早出に備え早めに床に就いた。



21日 快晴 大山夏山登山道から弥山山頂に登り、下山は元谷から大神山神社経由で下山し帰路につく。

ペンション『さかた』4:00=夏道登山口P4:30/4:50~六合目 6:50/7:10~大山山頂 7:55/8:20~六合目 9:30~元谷 10:30~大神神社 11:00/11:10~夏道登山口 11:35/11:45=岩舟支所P22:30

今日は大山に登ってから栃木まで帰るので、3時に起床し4時に宿を出発する。



窓の外を見ると星が瞬き、天気は予報通り上々の天気になるようだ。出掛ける支度して奥さんが作ってくれた弁当をいただき、ご夫婦にお礼を言って4時ちょうどに出発した。一般道を走っても時間は変わらないが、山道は酔う人がいるので高速道を使う。蒜山 IC から高速道に乗り、2つ先の溝口 IC で降りて大山登山口駐車場へ着く。月曜日なので駐車場が空いていて、トイレも新しくキレイなトイレになっていた。トイレとストレッチを済ませたら出発する。舗装道を左に進むとすぐに夏道登山口の標識があり、左に石段を登り夏道登山道を登る。

広い階段状の登山道を緩やかに登り、三合目を過ぎると少しずつ勾配がきつくなり、ブナの巨木が見られるようになる。さらに雄大なブナの森に覆われた四合目に着き、休憩を取っておにぎりを口に入れる。ここからは段差が大きい階段が続く急坂に変わり、ブナの新緑に覆われ大山山頂は見る事が出来ない。五合目あたりから足下が岩場になり、灌木の中を歩きダイセンミツバツツジが疲れを癒してくれる。途中、下山で使う元谷へ下る道を左に分け、直進してジグザグに登ると視界が開け六合目避難小屋に着く。ここで朝食休憩を取り、お湯を沸かしてタマゴスープを作り弁当をいただく。弁当を広げるとハエが集まって来て、I川さんのスープに飛び込んでしまった。スープを作ってくれたI川さんは、一口も飲まずに捨てることにな



ってしまった。東側が開け、大山の北壁から北谷にかけての凄まじい崩落壁が一望できる。六合目から八合目までは、火山砂礫が露出した最も急な上り坂が続ききつい所だ。7合目あたりから日本海が見渡せ、美保湾のカーブが美しく歓声が上がった。

今日は最高の晴天に恵まれ、空気も澄んでいるので遠くまではっきりと見渡せる。八合目まで登ると景色が一変し、天然記念物のダイセンキャラボクの純林帯が広がる頂上台地出る。ここから山頂までは植生保護の為、木道が掛けられていて眺望を楽しみながら登って行く。木道を一步一步登り、30分ほど歩くと大山頂上小屋に着く。小屋は帰りに寄ることにして、その先の弥山山頂に立つ。山頂からは360度の大パノラマが広がり、すぐ東には大山最高峰である剣ヶ峰がすぐそこに見えるが、崩落が激しく危険なため立入禁止になっている。山頂からの眺望を楽しみ、記念写真を撮ったら頂上小屋へ向かう。頂上小屋は広く、中に水洗トイレがあり利用させてもらう。管理人がまだ来てなくて、売店が無かったが以前来た時は飲み物などが売られていた。ゆっくり休んだら下山し、下山は左に石室経由で下って行く。日本海に向かって下り、美しい弧を描く弓ヶ



ヶ浜に向かって下る道は大パノラマを堪能でき、皆さんが「素晴らしい、来て良かった～」と連発していた。途中で往路と合流し、崩落地形の露岩を下ると頂上小屋の管理人とすれ違った。今日は寝坊して遅刻してしまったとの事で、登山バッチが欲しいI&Iコンビはバッチをゲットできず悔しがっていた。六合目小屋まで一気に下り、ブナの森に入ったら行者谷別れを右に下り元谷へ向かって降りて行く。ここから元谷までは、ブナの緑豊かな樹林の間に急勾配の木製階段が整備されている。階段の段差が大きく、踏み幅が狭いので歩きにくく、元谷まで下るのに時間が掛かってしまった。ガレ沢に出て南側を見ると、大山北壁の崩落地が凄まじかった。沢を渡渉した先で休憩し、リンゴや菓子を食べーいれる。ここから道標に従って左折し、元谷の右岸を下って行く。さらに鬱蒼とした谷筋をしばらく進むと、大神山神社に出る。

神社でトイレを済ませ、本殿に参拝したら登山口駐車場に向かう。長い石畳の参道を下り、大山寺の山門まで来ると「大山寺に寄りたい」と言いI&I コンビが大山寺に向かった。皆さんは駐車場に向かい、我輩は二人が戻ったら一緒に駐車場に向かう。無事下山し、靴を履き替えトイレを済ませて帰路につく。途中、蒜山 SA に寄り昼食を食べ、お土産を買って栃木に向かった。ここから長い運転で運転手さんは大変だったが、事故も無く無事に岩舟支所に帰着出来た。天気に恵まれ、松江城と蒜山、大山と全て予定通り歩くことが出来大満足の山行になった。

